

2011年10月27日開催 アーガスLNGセミナー  
プレゼンテーション要旨および  
そこからの示唆

講師 Jim Nicholson



London, Houston, Washington, New York, Portland, Calgary, Santiago, Singapore, Beijing, Tokyo,  
Sydney, Dubai, Moscow, Astana, Kiev, Hamburg and Johannesburg



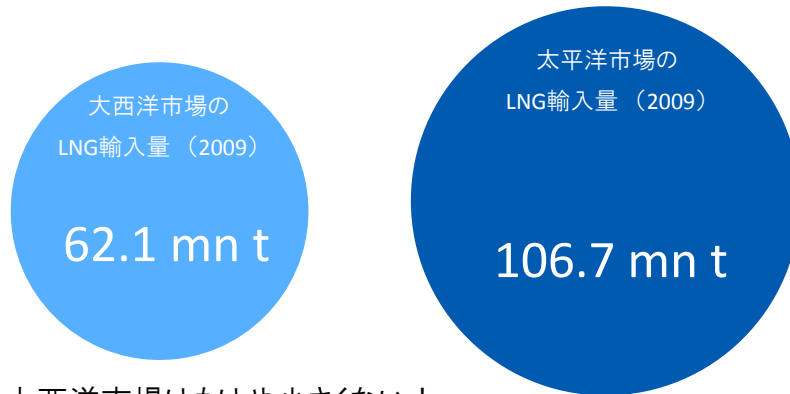
主要テーマ

- グローバル化するLNG市場
- 中国のLNG輸入の近況と見通し
- 価格インデックスの果たす役割



## グローバル化するLNG市場

- LNG市場はかつて、太平洋地域(主に日本)特有の市場だったが、現在は大西洋地域にも拡大した。



大西洋市場はもはや小さくない！



## グローバル化するLNG市場

- 2010年における世界全体のLNG取引量は、前年比10%増の2億2,000万トン規模に達している。
- 2009年から2010年にかけての地域別輸入量は、アジアで1,820万トン、欧州で1,360万トン、北南米で570万トン、中東で150万トン増加した。



## グローバル化するLNG市場

- 増加需要の大部分は中東での生産増加によってバランス。特にカタールへの世界全体の依存が高まっている。
- 2010年時点のカタールからの輸出が国際貿易量全体に占める割合は約25%にまで拡大。
- ナイジェリアの輸出量回復により、大西洋地域の供給も増加。
- 世界全体の液化設備量は、2011年には2億7,000万トン規模に、2012年には2億8,000万トン規模に拡大する見通し。

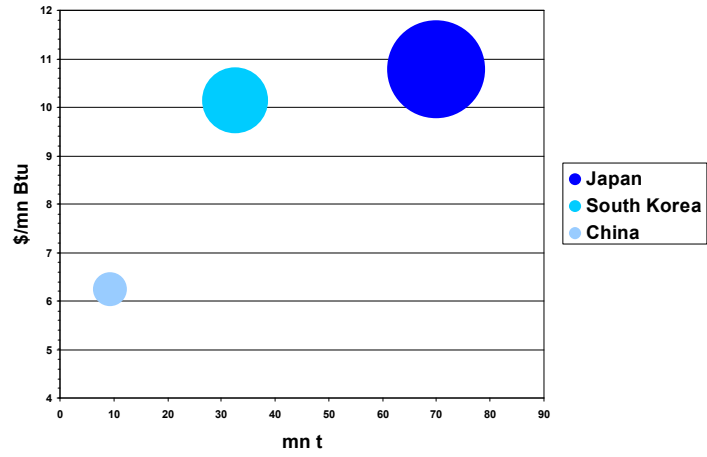


## LNG市場のグローバル化

- ただし...  
価格については、一物一価の状態には至っていない。
  - 日本と韓国の価格が高い。
  - が、アジアが高いというわけではない。中国は日韓に比べて安い。
  - 中国が特別安いわけではない。中国の価格は欧州並み。
- また...  
明らかにボリュームディスカウントが効いていない。むしろ、ボリュームが多い日韓の価格が高い。



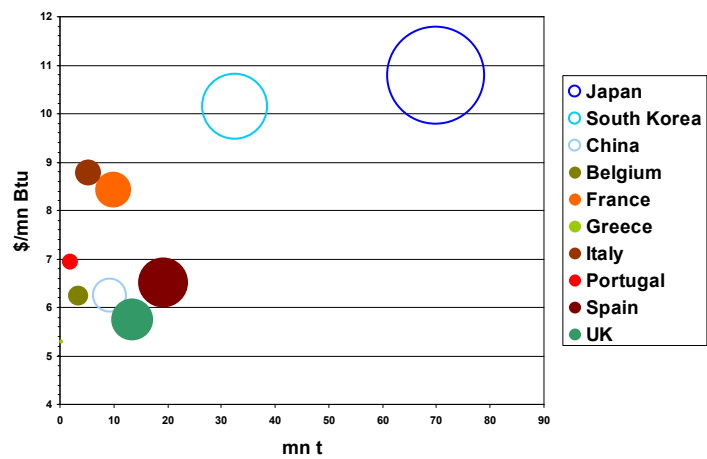
## LNG市場のグローバル化



ボリュームが多い順に価格が高い



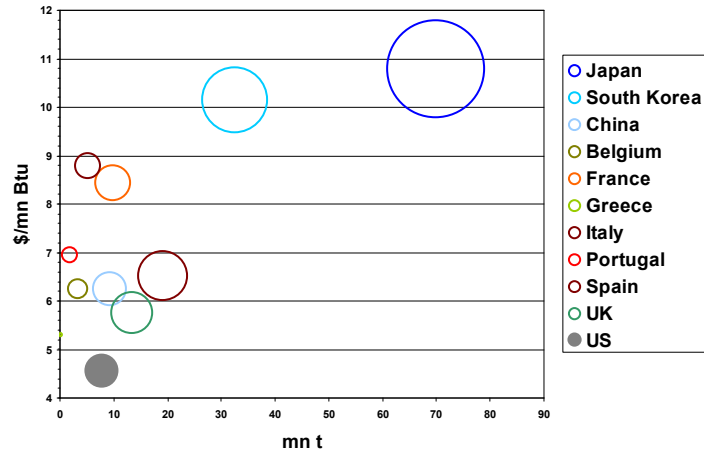
## LNG市場のグローバル化



特異に見えるのはむしろ日韓の価格？



## LNG市場のグローバル化



米国はさらに安い



## LNG市場のグローバル化

- 日韓の価格が高いのは....
  - ボリュームが多い＝需要が強い
    - すでに国際化したLNG市場でボリュームを求めれば、より高い支払いを求められる。
  - 選択肢が限られる
    - 自国でガス生産がほとんどない
    - 天然ガス(パイプライン・ガス)の市場がない
    - 東南アジア・大洋州および中東に依存
- 中国の価格が安いのは...
  - 価格優先の調達
    - 価格が高ければ買わない
    - ロシアや中央アジアからのパイプラインでの供給も確保している



- 欧州価格が安いのは...
  - 選択肢が限られていない
    - 自地域産の天然ガスがある
    - ロシアや中央アジアからのパイプラインでの供給も確保している
    - 東南アジア、大洋州、中東、アフリカ、南米など各地からLNGを調達する
- 米国価格が安いのは...
  - 自産の天然ガスが大規模にある
    - シェールガスの商業生産にいち早く漕ぎ着けた

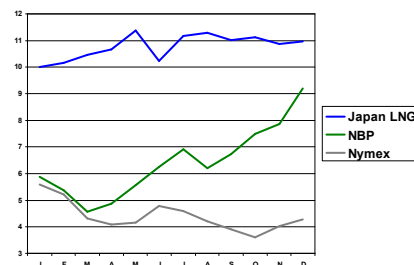


## LNG市場のグローバル化

- ただし...
 

欧州の天然ガス価格は上昇傾向にあり、日本のLNG輸入価格に近づきつつある。

  - 一物一価の状態が形成され始めている？
  - 欧州需要家と日本や韓国などのアジア需要家は、調達においてより競争的な関係を深める？

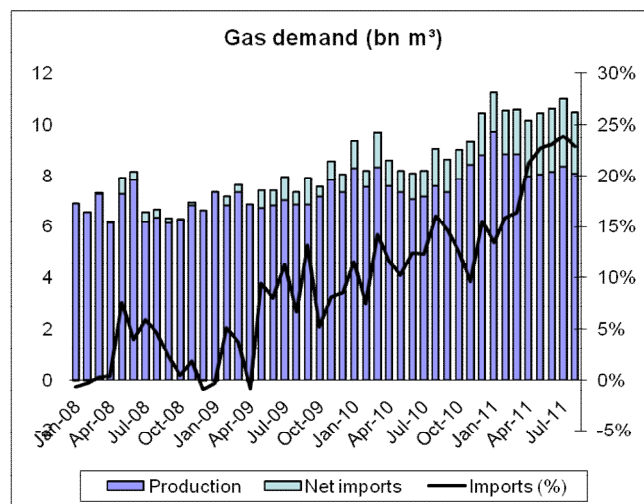


## 中国のLNG輸入の近況と見通し

- 中国の天然ガス需要は年率20%のペースで増加中。
- このペースが続けば、2015年には年間2,600億立方メートル規模に。
- 輸入依存度は2030年には43%程度に達することに。2010年時点の依存度は10%。
- ただ、増加する輸入の大部分はパイプラインでの輸入となり、LNG輸入の増加は限定的になる見通しも。



## 中国のLNGと天然ガス輸入の近況と見通し



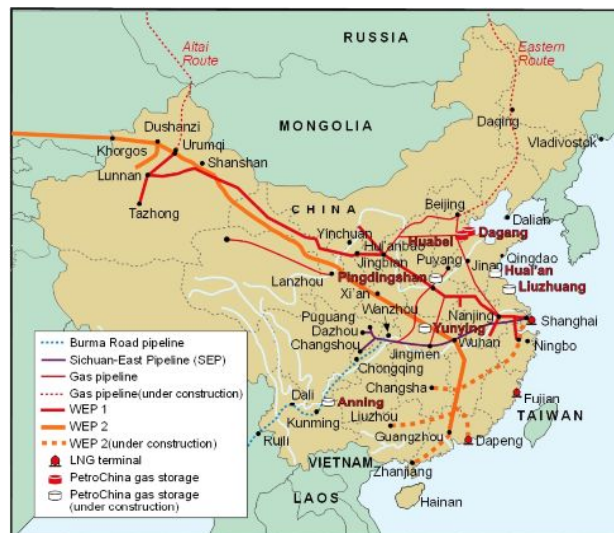
※天然ガス



## 中国のLNGと天然ガス輸入の近況と見通し



## 中国のLNGと天然ガス輸入の近況と見通し



## 中国のLNG輸入の近況と見通し

- 需要増加が予想されるも、それを満たす供給体制を確保するにはいくつかの課題がある。
  - 供給インフラの整備
    - 現在の貯蔵能力は需要規模の3%程度。輸入増加には同能力の拡大が必須。
    - ただ、輸入ターミナルの建設計画には過剰観が。国営石油各社が経済性を無視した競争を展開している様相。
  - 価格の内外格差
    - 国内価格は低位に抑制されており、天然ガスおよびLNG輸入の経済合理性を失わせている。
- 中国によるLNG輸入の今後は引続き観測を要する。



## 価格インデックスの果たす役割

- アーガスでは多くの天然ガスのスポット価格インデックスを市場に提供。契約価格の決済指標や価格の変動リスクを軽減するためのデリバティブ取引の決済指標として利用されている。
- 特に欧州ではスポット価格インデックスで長期契約価格を決済する動きに。(石油価格がガス価格を決める時代から、ガス価格がガス価格を決める時代へ)
  - アーガスの価格インデックスの利用一例
    - 英国天然ガス・スワップの決済指標
    - ガスプロムの長期供給契約の決済指標
    - ドイツ市場における現物取引の決済指標



## 価格インデックスの果たす役割

- LNG価格インデックスの要求
  - LNG市場の国際化および大西洋地域への拡大により、LNG価格インデックスへの要求が増加。
  - LNG価格の適正性、透明性が求められる。原油連動ではなく、ガス価格連動が望まれる。
- アーガスでは2011年10月から、6インデックスの提供を開始。
  - 提供開始に先立ち、徹底的に取引動態を調査。仕向け先ごとに異なる取引の標準と方法論(メソロジー)を定義。
  - アジア、欧州、北南米に調査員を配置。



## 価格インデックスの果たす役割

- アーガスが提供するLNG価格インデックス(日次更新)
  - 中国着価格インデックス
  - 日本/韓国/台湾着価格インデックス
  - インド着価格インデックス
  - 豪州積み価格インデックス
  - 中東積み価格インデックス(アジア太平洋向け価格)
  - 中東積み価格インデックス(欧州向け価格)



その他、重要関連情報と併せて提供。



## まとめおよび日本支局による捕捉

- 国際LNG市場は変化の途にある。変化の行く先を読むために、国際市場を包括的に注視していくことが必要。
- 欧州の台頭は調達における競合の出現を意味する。
- 中国の影響は現時点で不明。特段の注視が必要。
- 日本はボリュームが多く、価格が高い。
- ボリュームの確保はより競争的に。
- 価格の上昇を抑制する変革が望まれる。
- 原油連動を続けるべきか、然るべき代替指標は何かの考察が必要。



## Argus Media Limited 日本支局

電話 : 03-3561-1806

メール : [argusjapan@argusmedia.com](mailto:argusjapan@argusmedia.com)

HP : [www.argusmedia.jp](http://www.argusmedia.jp)



London, Houston, Washington, New York, Portland, Calgary, Santiago, Singapore, Beijing, Tokyo, Sydney, Dubai, Moscow, Astana, Kiev, Hamburg and Johannesburg

